
家具新聞媒体資料

家具新聞社

〒103-0006 東京都中央区日本橋富沢町6-2 日本橋遠綿ビル4階

TEL 03-6262-8330 FAX 03-6262-8334

URL : <http://www.kagu-news.net>

E-mail : kagu-news@seisaku-center.co.jp

家具新聞のこれまでの経緯と取組

2016年5月

World Interiors Week2016 in Japan 特別公認イベント「横浜で、チャールズ&レイ・イームズを想う」～近代家具デザインの巨匠が日本に与えた影響～成型合板やFRPなどを使って実用性、生産性、美しさを兼ね備えた椅子を生み出した近代家具デザインの巨匠、チャールズ&レイ・イームズの日本の家具デザインに与えた影響を作品展示、映像、武蔵野美術大学名誉教授・寺原芳彦氏の講演などを横浜で開催して紐解いた。会場＝横浜大さん橋国際客船ターミナル、横浜情報文化センター

後援＝横浜市文化観光局・神奈川新聞社、協力＝ハーマンミラージャパン株式会社、協賛＝新聞制作センター

2017年5月

World Interiors Week2017 in Japan 特別公認イベント「高級家具と和のインテリアの出会い WIW in 春日部」

日本インテリアコーディネーター協会 (icon) の協力の下、埼玉県・春日部市の匠大塚で和硝子や盆栽、洋家具をコーディネートして展示を行った。合わせて、町田ひろ子アカデミーの町田ひろ子校長が和のインテリアをテーマに講演した。

後援＝春日部市、埼玉新聞社、協力＝匠大塚

2018年1月

セミナー「クリーンウッド法と家具業界～基礎知識と今後のビジネスへの影響」

一般社団法人全国木材組合連合会からの委託を受け、家具業界関係者に向けたクリーンウッド法のセミナーを東京都渋谷区の日本看護協会ビルJNAホールで開催した。「海外と日本の環境潮流」「クリーンウッド法の意義と登録の仕方」「ビジネス成功事例」等のテーマ別に博報堂DYホールディングス、パタゴニア日本支社、住友林業、ワイス・ワイス等の企業担当者および林野庁、経済産業省の担当官が講演した。来場者約100人。

2018年7月～11月

セミナー「クリーンウッド法と家具業界～解説と報告 国内外を市場としたビジネス戦略」を全国8都市で開催

一般社団法人日本木質バイオマスエネルギー協会の委託を受け、福岡県大川市、岐阜県高山市、東京都中央区、北海道旭川市、広島市、静岡市、大阪市、仙台市で家具業界関係者に向けたクリーンウッド法の意義と同法登録を呼び掛けるセミナーを開催した。既にクリーンウッド法に登録している企業担当者、林野庁担当官、登録事業者らが講演した。主な講演者は積水ハウス、三越伊勢丹プロパティデザイン、マルニ木工、ミニストップなど合法木材の利用を推進する企業担当者。主要家具産地で家具関連業者に直接働き掛けることで、クリーンウッド法の登録推進につなげた。

2020年4月のミラノデザインウィーク期間中、イタリア・ミラノの介護施設で展示会「高齢化先進国 日本からのシニアライフ提案」を企画。10社以上の出展者が集まったが、ミラノ州都のロンバルディア州で新型コロナウイルスの感染者が広がったためやむなく中止。

家具新聞について

会社名 有限会社家具新聞社
所在地 〒103-0006 東京都中央区日本橋富沢町6-2 日本橋遠綿ビル4階
 TEL 03-6262-8330 FAX 03-6262-8334
代表者 代表取締役 小田部 亨
業務内容 家具・インテリア業界専門紙発行、出版、イベント企画・運営
家具新聞発行部数 5000部

家具新聞購読者

家具メーカー／問屋／家具小売店／百貨店／スーパー／通販会社／DIY・HIセンター／建設・住宅会社／設計事務所／工務店／住設会社／内装工事会社／住宅設備会社／家具関連資材会社／木工機械／設備会社／インテリアコーディネーター／プランナー／デコレーター／デザイナー／インテリアスクール／消費者団体／金融機関・関係省庁／その他

沿革

昭和29年 6月 協同組合荒川洋家具工業会初代専務理事小栗敏氏と東京都立工業奨励館の奥谷貞夫氏により業界情報案内を発行
 昭和30年 10月 東京都荒川区日暮里で協同組合荒川洋家具工業会の機関紙「荒川家具新聞」として創刊号を発行、その後「東京家具新聞」に題字変更
 昭和41年 10月 機関紙から全国紙に脱皮、「家具新聞」と題名を改め、それ以来、「家具新聞」に加え、出版部門を充実
 昭和44年 9月 家具業界初の「家具年鑑」を発刊、さらに「家具新聞縮刷版」も発行し、これまで40版を数える。(平成21年4月現在)
 昭和51年 10月 「家具インテリア木材加工用語辞典」を発刊、さらに「家具インテリア企業100選」(昭和48年12月初版)も16版まで発行
 平成6年 11月 家具新聞創刊40周年を記念して、家具業界21世紀への展望や業界内外の各代表者の祝辞さらに業界40年間の歩みを年表にまとめた「創刊40周年記念特集版」を発行
 平成11年 10月 家具新聞創刊45周年を記念して「創刊45周年記念特集版」発行
 平成17年 5月 「家具新聞」活字媒体とwebサイトとのリンクという新しい時代の家具・インテリアビジネスサポート機能を持った出版物「家具・インテリアビジネスガイド」を発行
 平成21年 4月 家具新聞創刊55周年を記念して「創刊55周年記念特集版」発行。戦後65年間の家具産業の歩みを年表にまとめる
 平成24年 8月 (株)新聞制作センターと業務提携し紙面の刷新をする。平成26年10月の創刊60周年に向け編集・制作体制の充実を図る
 平成26年 4月 林野庁・林政記者クラブに加盟
 平成26年 6月 家具新聞60周年を記念して「創刊60周年記念特別号」を発行。戦後70年間の家具産業の歩みを年表にまとめる
 平成26年 11月 書籍「戦後日本の木製家具」を発行

家具新聞はこんな新聞です！

創刊は昭和 29 年

家具新聞は、日本が戦後の復興から高度経済成長を迎えようとしていた1954（昭和 29）年に創刊しました。以来、家具業界とともに歩んで参りました。

家具&インテリアの最新動向

家具&インテリア業界の最新動向を大判（プランケット判）4～8ページ、フルカラーの紙面にコンパクトにまとめて、毎月第1、第3水曜日をお届けしています。

技術とデザインの最前線

木製家具の匠の技、眠りを科学するベッド関連の技術、職人や作り手が込めた製品への思い、時代の先端を走るデザイナー—こうした現場取材して確かな情報をお伝えしています。

旬のネタを追跡

国産材・地域材の活用、合法木材など循環型社会の構築のために取り組まねばならないこと。厳しい経営環境をどう乗り切るか。経済から環境まで、さまざまな業界の課題に焦点をあて、旬のネタを追跡して解決のヒントを探ります。

人気の連載企画

次世代への技術の継承、インテリアコーディネーターからの業界への提言など、読み応えある連載をお届けしています。

<http://www.kagunews.net>

<https://www.facebook.com/kagushimbun>

<https://twitter.com/ClubKagu>

カラー広告料金

税別

①	全面広告	H512×W377 [≒] mm	1,200,000円
②	題字横	H31×W72 [≒] mm	30,000円
③	記事中	H31×W72 [≒] mm	20,000円
④	突出し	H66×W53 [≒] mm	20,000円
⑤	2段1/4	H66×W92 [≒] mm	40,000円
⑥	全3段	H100×W377 [≒] mm	240,000円
⑦	3段半	H100×W187 [≒] mm	120,000円
⑧	全5段	H168×W377 [≒] mm	400,000円
⑨	5段半	H168×W187 [≒] mm	200,000円
⑩	全7段	H237×W377 [≒] mm	560,000円
⑪	7段半	H237×W187 [≒] mm	280,000円
⑫	名刺広告	H65×W61 [≒] mm	10,000円

家具・インテリア・木工の業界専門紙

**家具
新聞**

— 家具新聞はこんなところに読まれています —

家具メーカー、家具小売店、問屋、ゼネコン、設計事務所、ハウジング会社、工務店、内装工事会社、住宅設備機器会社、デパート、スーパー、DIYホームセンター、デザイナー、インテリアコーディネーター・デコレーター・プランナー、インテリアスクール、消費者団体、通販会社、官庁、その他

パノラマ版掲載例



パノラマ版
新聞は2ページ見開きが一般的ですが「パノラマ版」は、3ページを一覧できるため、迫力ある紙面レイアウトで読者にPRすることができます。

パノラマ版の記事広告は160万円（税別）からとなります